

I 令和4年度鈴鹿市一般会計予算について

総額 約682億円（前年比 35億5,000万円増）

歳入予算

内訳	予算額	構成比
① 市税	約285億円	約42%
② 国・県支出金	約157億円	約23%
③ 地方交付税等	約140億円	約21%
④ 市債（借金）	約63億円	約9%
⑤ 繰入金（財政調整基金等）	約37億円	約5%
合計	約682億円	100%

歳出予算

内訳	予算額	構成比
① 民生費	約278億円	約41%
② 教育費	約78億円	約11%
③ 総務費	約77億円	約11%
④ 土木費	約67億円	約10%
⑤ 衛生費	約59億円	約9%
⑥ 公債費	約44億円	約6%
⑦ 消防費	約32億円	約5%
⑧ その他	約20億円	約2%
⑨ 農林水産業費	約15億円	約2%
⑩ 商工費	約11億円	約2%
⑪ 労働費	約1億円	約1%
合計	約682億円	100%

2 令和4年度障がい福祉課関連予算について

令和3年度予算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額	前年比（予算対比）
約51億1千万円	約57億2千万円	約57億6千万円	約6億5千万円増

主な事業費	令和3年度予算額 A	令和3年度決算額 B	令和4年度予算額 C	前年比 D (予算対比) D=C-A
障害福祉 サービス等 事業	約33億200万円	約37億7,880万円	約38億2,670万円	約5億2,470万円 増
地域生活支援 事業	約2億1,180万円	約2億1,730万円	約2億3,320万円	約2,140万円 増
自立支援医療 (更生医療)	約1億5,060万円	約1億5,470万円	約1億5,060万円	増減なし
特別障害者 手当	約6,870万円	約6,860万円	約7,070万円	約200万円 増
補装具事業	4,100万円	約4,420万円	4,400万円	300万円 増
障害児通所 支援事業	約11億5,860万円	約12億8,550万円	約12億5100万円	約9,240万円増
障害児福祉 手当	約2,680万円	約2,490万円	約2,680万円	増減なし

(1) 障害福祉サービス事業（サービス事業費負担金）

令和3年度末支給決定者数 1,642人

令和3年度予算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額	前年比（予算対比）
約32億8,700万円	約37億6,090万円	約38億860万円	5億2,160万円増

主なサービス別利用状況（一部抜粋）

サービス名	延利用者（人）	利用額（円）
居宅介護	2,701	146,497,197
生活介護	6,256	1,335,965,384
就労移行	394	65,770,502
就労継続（A型）	2,909	438,861,556
就労継続（B型）	5,780	742,617,256

(2) 障害児通所支援事業（サービス事業費負担金）

令和3年度末支給決定者数 987人

令和3年度予算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額	前年比（予算対比）
約11億5,700万円	約12億8,230万円	約12億4,790万円	約9,090万円増

主なサービス別利用状況（一部抜粋）

サービス名	延利用者（人）	利用額（円）
児童発達支援	4,590	292,545,840
放課後等デイサービス	9,821	939,756,620

(3) 福祉タクシー事業

対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹・視覚）Ⅰ・Ⅱ級

身体障害者手帳（内部）Ⅰ級

療育手帳A

精神障害者保健福祉手帳Ⅰ級

ただし、自動車税または軽自動車税の減免を受けている方は除く

交付内容 一人当たり 500円券 × 2枚 × 月数
(計1,000円～12,000円分)

令和3年度予算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額	前年比（予算対比）
4,845,000 円	4,274,110 円	4,590,000 円	255,000 円減

年度	交付人数 (人)	決 算 額 (円)	利 用 率		社会福祉事業振興 基金残高
			(%)	前年比	
H27	1,560	10,363,770	45.9	3.2%減	17,881,758
H28	793	5,220,170	61.0	15.1%増	11,120,798
H29	791	4,926,200	58.3	2.7%減	6,395,003
H30	791	4,966,770	58.8	0.5%増	
R1	787	4,793,690	57.9	0.9%減	
R2	741	4,178,220	54.0	3.9%減	
R3	688	4,274,110	57.2	3.2%増	

(4) 障がい者の就労マルシェ（就職面接会）

本年度は、障がい者の就職面接会を１１月１０日（木）、１１日（金）に、イスのサンケイホール鈴鹿で開催予定であるが、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、内容は関係機関と協議の上決定の予定。

(5) 福祉ロボット推進事業

歩行訓練用装着ロボットスーツHALの訓練指導ができる人材の育成と、訓練可能な施設を増やすことで、みえライフイノベーション総合特区鈴鹿拠点に集約された医療・福祉の社会的資源の一層の活用と充実を図り、学生の定住化を図り、地域障がい者の自立、福祉の先進的取組みを引き続き支援する。

(6) 障がい者就労農福連携事業

令和元年度から、本市単独補助金にて支援を行っている。

農産物を生産する市内就労系福祉サービス事業所（農福連携事業所）への農業技術指導，農産物販売拠点での販売実証による農福連携事業所の工賃向上，商品のブラッシュアップ，障がい理解につなげる取組み。

さらに、ジョブトレナーの派遣を通じて一般就労を希望する障がい者を支援する。

また、中日本高速道路株式会社と、障がい者アグリ就労人材センター及び本市との協定により、鈴鹿パーキングエリアを活躍の場と位置づけ、就労支援事業所と協力しながら、障がい者支援を中心とした事業を展開し、フラワーオブジェの管理等、パーキングエリア内の美化、清掃活動を引き続き実施している。